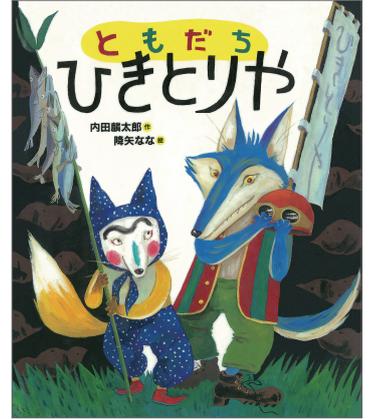




「ぼくの わたしの すきな 本」



(出版社: 偕成社)

こんな本だよ

イタチとイノシシがけんかして、ひきとりやをキツネが思いついて、つぎの日、イノシシのところに行きつけてきます。そして、イタチをひきとって、さかなをキツネがイノシシにあげて、つぎの日イタチとキツネとオオカミがたのしくあそんで、つぎの日のそのつぎの日、イノシシがじぶんをひきとり、さいごは、イタチとなかよくなります。

この本のところが好き！

さいごの、イタチとイノシシがなかよくなるところが、さいごなかよくなったのが、なかよくなってよかったので、ところが、好きです。

本の名前 なまえ

ともだち ひきとりや

本を書いた人

内田 うちだ 麟太郎 りんたろう (作) さく / 降矢 ふりや なな なな (絵) え

ついついけんかをしてしまうイタチとイノシシ。

ひきとりやのキツネとオオカミのおかげで仲直りができました。

ひきとりやが引き取ったものは何だったのかな？

